

# 令和5年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(株)札幌副都心開発公社	所管課	都)総務課
基本財産	870,000千円	記入者	担当 井川 電話 011-211-2555
設立年月日	昭和49年(1974年)5月1日	本市出資額	300,000千円(出資割合 34.5%)
設立・出資目的	本市策定の「厚別副都心開発基本計画」に基づき、その中核となる商業施設等を総合的に建設、管理する事業主体として設立。各種都市サービス機能の集積など、本市が進める副都心のまちづくりにあたり、同公社と連携して取組を進める必要があるため。	出資年月日	昭和49年(1974年)4月16日
沿革		S49.5	設立(資3.7億)、S50.8増資(資8.7億)
		S52.6	サンピアザオープン
		S57.6	メトロモール、水族館、百貨店オープン
		H2.6	デュオ1・アークシティホテル、
		H4.6	H4.6デュオ2オープン
		H8.6	パレスホテル(現ホテルエミシア)オープン
		H9.5	(株)ドーコン本社ビルオープン
代表者	代表取締役社長(常勤) 中塚 宏隆(市OB)		
主な出資者	① 札幌市 (34.5%) ② 日本政策投資銀行 (19.5%) ③ 日本カストディ銀行 (9.2%) ④ ノースパシフィック (8.8%) ⑤ 北洋銀行 (5.0%) ⑥ 北海道銀行 (4.6%)		
団体所在地	〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目7番2号 電話 011-890-2424		

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① ショッピングセンター事業(SC事業)(6ページ)	② 土地管理事業(7ページ)
厚別・新札幌地区の核となる商業施設として、地域住民の生活利便性の向上や効率的な都市機能を確保する上で、中心的役割を果たしている。	地域住民の生活利便性向上とともに、より快適な都市生活の展開を図るための事業・業務施設の開発整備を進めており、今後も効果的な土地活用を進める。
③ ホテル事業(8ページ)	④ バスターミナル事業(9ページ)
交通結節点でもある副都心において、地域住民やビジネス客に対応できるコミュニティ機能を持つ宿泊・宴会施設として、地域の利便施設の役割を担っている。	広域交流拠点でもある副都心における交通結節の重要施設であり、公益性の高い事業とともに関連各施設と連携した効率的運用を図っている。
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合 94.7% (主要事業支出合計 3,824,394千円 ÷ 総支出 4,039,529千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	これまで当団体は、札幌副都心地区の都市基盤整備や都市機能の充実に寄与してきたところであるが、公社所有地の利活用の推進や、当団体が管理する諸施設の運営改善等により事業効果を更に高める余地があると考えられる。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	課題であった土地管理事業における暫定利用地については、一部で開発事業が行われており、その他の事業についても副都心地区魅力向上に向けた施設の更新や経営の効率化等が図られているが、残る暫定利用地の活用について早急に検討を行い、副都心地区のさらなる魅力向上に取り組む必要がある。

## 3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期		
役員					13	10歳代	1	40歳代	17	取締役	2年	
常勤取締役	1	0	2	1		20歳代	7	50歳代	13	監査役	4年	
常勤監査役	0	0	0	1		30歳代	10	60歳代	6	代表権のある役員 の就任年月		
非常勤取締役			6			平均年齢		44.0	歳	取締役	R2.6	
非常勤監査役			2		74						監査役	—
職員											職員総数の推移(人)	
常勤管理職	0	0	14	0							R03.4.1時点	77
常勤一般職	0	0	40	0							R04.4.1時点	74
非常勤職員			20									

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R3年度決算	R4年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	3,832,213	4,086,904	(100.0%)	
	経常収入 (a+f)	3,832,213	4,086,904	(+254,691)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	3,749,168	(+290,361)
			営業費用 (b)	3,562,407	(+261,988)
			うち販売費・一般管理費 (c)	478,001	(+15,287)
			うち人件費 (d)	443,436	(+12,793)
			営業利益 (e)	186,761	(+28,373)
	営業外	営業外収益 (f)	83,045	47,375	(▲ 35,670)
	当期純利益 (g)	160,297	120,279	(▲ 40,018)	
	貸借対照表	資産 (h)	25,961,346	26,016,369	(+55,023)
		流動資産 (i)	896,663	1,083,460	(+186,797)
		固定資産 (j)	25,064,683	24,932,909	(▲ 131,774)
		負債 (k)	13,489,670	13,424,387	(▲ 65,283)
		流動負債 (l)	1,714,683	1,941,973	(+227,290)
固定負債 (m)		11,774,987	11,482,414	(▲ 292,573)	
純資産 (n)		12,471,676	12,591,982	(+120,306)	
資本金 (o)		870,000	870,000	(0)	
借入金残高 (p)	3,889,160	3,745,027	(▲ 144,133)		

#### R4年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a～g	収入面ではSC事業をはじめ、水族館事業、ホテル事業の各部門において増収、支出面では売上原価が電気料金の値上げや施設修繕工事費等により増加し、営業利益では増益となったものの、法人税負担の増加等により、当期純利益は減少し、増収減益決算となった。
h～p	有形固定資産の償却や借入金の返済が進んだ一方で、年度末竣工の工事額の未払金が増加したことに対する支払いに備えた現金預金が増加したことで、全体として増加している。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	11,601,676	11,721,982	(+120,306)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	48.0%	48.4%	(+0.4%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	52.3%	55.8%	(+3.5%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	201.0%	198.0%	(▲3.0%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	15.0%	14.4%	(▲0.6%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	49,769千円	55,228千円	(+5,459千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	11.8%	11.3%	(▲0.5%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	6,208千円	6,666千円	(+458千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	12.7%	12.2%	(▲0.5%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね健全	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
理由	健全性について、法人企業51人以上の同一業種の全国平均(※)と比べた場合、自己資本比率は平均を上回り良好だが、流動比率は平均を大幅に下回っている。また、固定比率は平均より低い数値が望ましいが、上回っているため経営の健全性はやや低い。前年度と比較して各指標が改善した点は評価したい。また、生産性は、前年度と比較して改善しており、自立性については前年度を含め従前から変化なし。 ※参考指標：「中小企業実態基本調査(中小企業庁)」令和3年度決算実績(令和4年確報) 法人企業51人以上の不動産業、物品賃貸業 :自己資本比率 約33%、流動比率 約184%、固定比率 約130%					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1)出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○出資比率の維持						
①	市出資金	目標		300,000千円	300,000千円	300,000千円
		実績	300,000千円	300,000千円	300,000千円	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (2)人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○市職員の役員就任						
①	市職員の役員の就任数	目標		1人	1人	1人
		実績	1人	1人	1人	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (3) 団体の活用

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○副都心に相応しい暫定利用地の開発・施設の維持						
①	暫定利用地（東駐車場） 開発推進	目標		土地明渡し	確定済	確定済
		実績	決定事業者との調整	決定事業者と契約締結	確定済	
		評価		達成	達成	
②	暫定利用地（北・南駐車場） 開発方針の確定	目標		開発方針決定	確定済	確定済
		実績	開発方針検討	開発方針検討	開発方針検討	
		評価		未達成	未達成	
③	商業施設のリニューアル 実施（施設維持対策を含む）	目標		670百万円	969百万円	576百万円
		実績	774百万円	243百万円	516百万円	
		評価		未達成	未達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
<p>②「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」に沿ったまちづくりの推進に対し、既存事業者として周辺開発を踏まえた副都心としてふさわしい多様な都市機能の誘導・集積・整備が必要であることから、より最適・効果的な事業計画とすべく方針決定に時間を要しているが、鋭意検討を進めている状況にある。</p> <p>③新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響を考慮し、当初計画から実施年次の順延等により未達成となったもの。次年度については安心・安全面の強化策として経年劣化が進む各種設備の更新工事の継続的な実施とI街区まちびらきやボールパーク開業に伴う新規来街者の取り込みに向けSCのフロアリニューアルを進める。</p>						

### (4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○各事業の収益性向上						
①	商業施設の充実・活性化 による売上増加	目標		3,205百万円	3,210百万円	3,210百万円
		実績	2,891百万円	3,070百万円	3,133百万円	
		評価		未達成	未達成	
②	ホテル事業の収支改善	目標		654百万円	654百万円	654百万円
		実績	213百万円	291百万円	444百万円	
		評価		未達成	未達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
<p>①売上歩合賃料及び電気使用量等の個別経費収入が増加し前年比102.1%となったものの、物価上昇に伴う家計の節約志向が高まっていることなどから、未達成となったもの。次年度はSCのフロアリニューアルを実施し、欠落業種の新店誘致及び空区画の早期賃貸化を進める。</p> <p>②宿泊部門において、イールドマネジメントを用いた戦略的な価格設定を実施したこと、宴会部門でもコロナ感染者の減少に伴い会食需要の回復傾向が強まったことから前年比152.6%となったが、コロナの影響もあり未達成となったもの。今後については、サービスレベル向上・CS向上に努め、リピーター客の獲得を図る。また、季節に合わせた企画を打ち出し、まちびらきに合わせた販売戦略を展開し、新規顧客の確保に努める。</p>						

### (5) 団体統制

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○適切な業務執行体制の推進						
①	業務適正化確保策の継続的な実施	目標		C委員会2、C研修1、内部監査1	C委員会2、C研修1、内部監査1	C委員会2、C研修1、内部監査1
		実績	C委員会2、C研修1、内部監査1	C委員会2、C研修1、内部監査1	C委員会2、C研修1、内部監査1	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						



# 事業評価 ( 1 ) ショッピングセンター事業

1. 事業概要	事業所管課： 都市局市街地整備部総務課	担当： 井川	電話： 011-211-2555
(1)事業内容	商業施設の中核であるショッピングセンターとして「サンピアザ」と「デュオ」を運営している。 「サンピアザ」と「デュオ」は札幌の副都心である新札幌に位置し、JR新札幌駅、地下鉄新さっぽろ駅、バスターミナルに直結した総合ショッピングセンターで、ファッション衣料、雑貨のショップや、飲食店、クリニック等、約200のテナントが入っている。		
(2)事業目的	札幌市の東部地域及び隣接する江別市、北広島市を後背圏とする厚別・新札幌地区において核となる商業施設である「ショッピングセンター」を計画的に配置し、地域住民の生活利便の向上と効率的な都市機能を確保することにより、厚別副都心開発基本計画の推進を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	昭和52年(1977年) 6月10日		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		3,281,157 ( 85.6 % )	3,418,439 ( 83.6 % )	(+137,282)
市補助金・交付金・負担金	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	3,281,157	3,418,439	(+137,282)	
	その他収入	0	0	(0)	
費用(支出)	費用(支出)	2,951,846	3,168,988	(+217,142)	
	事業費	1,710,238	1,929,015	(+218,777)	
	管理費等	1,241,608	1,239,973	(▲ 1,635)	
収支差		329,311	249,451	(▲ 79,860)	
収支比率		111.16%	107.87%	(▲ 3.28%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 増収および集客対策		入店8(退店8)	空区画(9)へのテナント誘致	入店8(退店8)	空区画(11)へのテナント誘致
② 顧客満足度の向上に向けた対策		入店8(退店8)	空区画(9)へのテナント誘致	入店8(退店8)	空区画(11)へのテナント誘致
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① SC専門店売上高		10,464	10,871	12,062	11,361
② 売上高前年比		105.1%	104.0%	115.3%	94.2%
③ 来店客数前期比		108.5%	104.0%	110.8%	94.2%
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和の機を捉え、SNS等を活用した情報発信の強化等や空区画への魅力あるテナントの誘致等の施策を積極的に展開し、婦人服・飲食・サービス業種を中心に回復基調となった。今後はI街区まちびらきやボールパーク開業に伴う新規来街者の取込に向けて、SCのフロアリニューアルを空き区画の早期賃貸化等に取り組む必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収支差及び収支比率ともに前年比を下回ったが、SC専門店売上高は増加しており、概ね良好である。

## 事業評価 ( 2 ) 土地管理事業

1. 事業概要	事業所管課： 都市局市街地整備部総務課	担当： 井川	電話： 011-211-2555
(1)事業内容	<p>1. 土地管理事業 オフィスビル並びに大規模な都市型ホテル建設のための用地をそれぞれ事業者へ賃貸し、当社は地代を収受している。</p> <p>2. 土地開発の状況 開発計画の固まっていない土地については、暫定的に駐車場として利用している。</p> <p>※「厚別副都心開発基本計画」の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発基本計画全体の区域面積は30.9ha。うち開発済の面積は29.5ha（進捗率は95%）</li> <li>このうち当社所管の区域面積は6.8ha。うち開発済の面積は5.4ha（進捗率は79%）</li> <li>未開発の1.4haを、駐車場に暫定利用している。</li> <li>東駐車場区画（0.16ha）については、令和3年札幌市のプロポーザルにて開発業者を選定</li> </ul>		
(2)事業目的	交通の結節点となっている厚別・新札幌地区において、厚別副都心開発基本計画に基づいて地域住民の生活利便の向上と効率的な都市機能を確保するとともに、快適な都市生活の展開を図っていくためには商業・業務施設の開発整備が不可欠であり、そのために本事業の推進を行っている。		
(3)事業開始	平成6年(1994年)7月9日 ※北1層2段駐車場供用開始		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		112,729 ( 2.9 % )	112,605 ( 2.8 % )	(▲ 124)
市補助金・交付金・負担金		0		(0)	
市業務委託料		0		(0)	
市指定管理費		0		(0)	
市施設利用料金収入		0		(0)	
自主事業収入(補助金除く)		112,729	112,605	(▲ 124)	
その他収入		0	0	(0)	
費用(支出)		25,649	21,795	(▲ 3,854)	
事業費		0	0	(0)	
管理費等		25,649	21,795	(▲ 3,854)	
収支差		87,080	90,810	(+3,730)	
収支比率		439.51%	516.66%	(+77.15%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 暫定利用地開発計画の見直しと推進(東駐車場)		決定事業者と契約締結	—	—	決定事業者事業開始
② 南駐車場区画計画の見直し		方針検討	方針検討	方針検討	方針検討
③ 北駐車場区画計画の見直し		方針検討	方針検討	方針検討	方針検討
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 開発進捗度(面積ベース)		79%	79%	79%	79%
② パークアンドライド平均契約件数(件/月)		—	—	—	—
③ 駐車場利用台数(千台)		—	—	—	—
④					
⑤ ※令和3年3月：対象駐車場営業終了(1街区一体開発工事着手のため)					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	東駐車場と市営住宅余剰地の共同開発について、26年度に策定した「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」に沿ったまちづくりや開発について着実に進めているところ。南北駐車場区画においては、より最適・効果的な事業計画とすべく慎重に検討を進めていかなければならないものの、早急に方針決定するよう促していく。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	事業収入については前年度より若干減ったものの安定した収入を得ており、支出面が改善されていることから、収支は良好である。

# 事業評価 ( 3 ) ホテル事業

1. 事業概要	事業所管課： 都市局市街地整備部総務課	担当： 井川	電話： 011-211-2555
(1)事業内容	JR、地下鉄、バスターミナルに直結した「新さっぽろアークシティホテル」を運営している。 立地・アクセスの良さを前面に出して、地域のコミュニティ施設として、また、宿泊・宴会・料飲（レストラン）を中心とした都市型ビジネス（コミュニティ）ホテルを目指して、利用者数増加のための営業展開を行っている。 （シングル95室、ツイン35室、デラックスツイン2室、スイート1室、ファミリールーム2室）		
(2)事業目的	副都心として、また交通の結節点として、地域住民やビジネス客に対応できるコミュニティ機能を持つ宿泊・宴会施設が必要という観点から、ホテルが新設された経緯にある。これからも、引き続き地域拠点の代表的な利便施設として、各種サービスの提供を行っていくことを目的としている。		
(3)事業開始	平成2年(1990年)6月6日		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		291,169 ( 7.6 % )	444,142 ( 10.9 % )	(+152,973)
市補助金・交付金・負担金	市補助金・交付金・負担金	0		(0)	
	市業務委託料	0		(0)	
	市指定管理費	0		(0)	
	市施設利用料金収入	0		(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	291,169	444,142	(+152,973)	
	その他収入	0	0	(0)	
費用(支出)	費用(支出)	465,805	513,433	(+47,628)	
	事業費	393,015	453,018	(+60,003)	
	管理費等	72,790	60,415	(▲12,375)	
収支差		▲174,636	▲69,291	(+105,345)	
収支比率		62.51%	86.50%	(+24.00%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① サービス向上		ネットセール販売実施	個人需要の拡充	個人向プラン販売強化	お客様満足度の向上
② 営業強化		宅配商品強化	宴会セールス実施	宴会電話セールス強化	法人セールス強化
③ 収益性向上		目標原価率達成	原価率管理の精度向上	目標原価率達成	労務費の適正管理
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 事業収支推移		▲175百万円	▲102百万円	▲69百万円	▲55百万円
② 宿泊客数		36,087人	44,013人	41,925人	47,263人
③ 宴会件数		731件	678件	753件	800件
④ 客室稼働率		63%	74%	70%	80%
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	これまで立地や特性を活かして地域拠点の代表的な利便施設としての役割を果たしてきたが、宿泊客数及び宴会件数、客室稼働率は、新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで回復しておらず、ポテンシャルも考慮すると、現在は十分な事業効果を発揮しているとは言い難い状況にあるため、各種成果指標の改善に向けた取組に努める必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収支は前年度より全体的に改善傾向であるものの、費用が収入を依然として上回っているため、イールドマネジメントを用いた戦略的な価格設定や、全国的に回復基調にある旅行需要の取り込み等に努める必要がある。



## 事業評価 ( 4 ) バスターミナル事業

1. 事業概要	事業所管課： 都市局市街地整備部総務課	担当： 井川	電話： 011-211-2555
(1)事業内容	<p>新札幌ターミナルビル北棟（通称「デュオ1」）の1階にある札幌市所有の新札幌バスターミナルを、市から当団体が借り受けて管理運営している。</p> <p>当団体は、バス事業者からバスパス（発着場）使用に伴う「使用料」を收受し、バスターミナル乗降客が安全かつスムーズに利用できるように（案内表示等の整備他）、また、バス事業者に対しては、バスが安全に運行できるよう（路面の整備、清掃、警備、除雪他、管制機器類点検）施設の維持管理を行っている。</p> <p>なお、バスターミナル構内に広告施設を設け、賃貸している。</p>		
(2)事業目的	市策定の「新札幌バスターミナル整備基本計画」に基づき、当地区における当社の管理する施設と一体的に管理することが合理的である等の理由から当社が事業者となり実施し、多くのバスターミナル利用者が併設のショッピングセンターにも足を運びやすい環境を生み出している。		
(3)事業開始	平成2年(1990年)6月1日		

### 2. 実施結果

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位：千円)	収入(経常収益比)	64,113 ( 1.7 % )	64,342 ( 1.6 % )	( +229 )	
	市補助金・交付金・負担金	0		( 0 )	
	市業務委託料	0		( 0 )	
	市指定管理費	0		( 0 )	
	市施設利用料金収入	0		( 0 )	
	自主事業収入(補助金除く)	64,113	64,342	( +229 )	
	その他収入	0	0	( 0 )	
	費用(支出)	119,107	120,178	( +1,071 )	
	事業費	117,675	118,703	( +1,028 )	
	管理費等	1,432	1,475	( +43 )	
収支差	▲ 54,994	▲ 55,836	( ▲ 842 )		
収支比率	53.83%	53.54%	( ▲ 0.29% )		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	バリアフリー対策	設備更新工事実施	設備更新工事実施予定	設備更新工事実施	設備更新工事実施予定
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	発着便数	348千便	357千便	349千便	349千便
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>当該事業はバスターミナル利用者が併設のショッピングセンターにも足を運びやすい環境を生むことを目的とし、結果として当公社の事業へ寄与することとなるが、バス事業者の運行計画の効率化により発着便数は減少傾向であり、当公社の事業への寄与を十分に果たしているとは言い難い状況にある。</p> <p>「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」と連携し、当地区の魅力向上を図ることにより集客アップにつなげるなど、他事業と相乗的に事業展開していく必要がある。</p>
(2)収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>各バス会社からのバス使用料を主な収入源としている当事業において、発着便数の減少に伴う収入の減少により、厳しい収支状況が続いているが、節電や機器の運転管理見直しなど、維持管理費用の経費節減を継続し、収支改善に努める必要がある。</p>

貸借対照表

( 令和5年(2023年)3月31日現在 )

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	1,083,460,031	<b>【流動負債】</b>	1,941,972,588
現金及び預金	831,219,963	1年以内返済予定長期借入金	627,904,000
売掛金	30,842,882	1年以内返済予定敷金等	93,480,100
未収金	202,948,133	未払金	582,760,361
その他の流動資産	18,449,053	未払法人税等	58,254,100
<b>【固定資産】</b>	24,932,908,999	前受金	158,752,597
<b>有形固定資産</b>	22,758,362,786	預り金	391,469,089
建物	5,271,428,096	賞与引当金	29,352,341
建物附属設備	1,579,302,537	<b>【固定負債】</b>	11,482,414,100
構築物	139,800,771	長期借入金	3,117,123,000
器具備品	69,975,713	保証金	2,480,500
土地	15,649,327,537	敷金	4,456,180,047
建設仮勘定	48,528,108	再評価にかかる繰延税金負債	3,662,149,545
その他の有形固定資産	24	退職給付引当金	244,481,008
<b>無形固定資産</b>	21,353,983	<b>負債合計</b>	13,424,386,688
電話加入権	7,983,263	<b>純資産の部</b>	
その他の無形固定資産	13,370,720	<b>【株主資本】</b>	4,208,165,506
<b>投資その他の資産</b>	2,153,192,230	<b>資本金</b>	870,000,000
投資有価証券	1,115,851	<b>利益剰余金</b>	3,338,165,506
関係会社株式	100,000,000	利益準備金	46,110,000
長期前払費用	141,489	その他利益剰余金	3,292,055,506
差入敷金	1,934,890	固定資産圧縮積立金	7,402,819
長期性預金	2,050,000,000	別途積立金	2,471,679,930
		繰越利益剰余金	812,972,757
		<b>【評価・換算差額等】</b>	8,383,816,836
		その他有価証券評価差額金	△ 578,175
		土地再評価差額金	8,384,395,011
<b>資産合計</b>	26,016,369,030	<b>純資産合計</b>	12,591,982,342
		<b>負債・純資産合計</b>	26,016,369,030

損 益 計 算 書

自 令和4年(2022年) 4月 1日  
至 令和5年(2023年)3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
<b>【 売 上 高 】</b>	<b>4,039,528,863</b>
S C 事 業 売 上	3,133,626,775
関 連 事 業 売 上	269,424,004
ホ テ ル 事 業 売 上	444,142,034
そ の 他 賃 貸 事 業 売 上	192,336,050
<b>【 売 上 原 価 】</b>	<b>3,331,107,071</b>
<b>売 上 総 利 益</b>	<b>708,421,792</b>
<b>【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】</b>	<b>493,287,901</b>
<b>営 業 利 益</b>	<b>215,133,891</b>
<b>【 営 業 外 収 益 】</b>	<b>47,375,272</b>
雑 収 入	47,375,272
<b>【 営 業 外 費 用 】</b>	<b>65,985,292</b>
支 払 利 息	65,985,292
<b>経 常 利 益</b>	<b>196,523,871</b>
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>	<b>196,523,871</b>
法人税、住民税及び事業税	61,726,766
法 人 税 等 調 整 額	14,518,584
<b>当 期 純 利 益</b>	<b>120,278,521</b>